２００９～ ミニバスケットボール旭川地区独自ルール

2009 ～シーズンから採用を検討している旭川ミニバスケットボール連盟独自ルールと現行ルール(日本バスケットボール協会採用ルール)の比較対照表です。(〰部は変更点)

旭川独自ルール	現行ルール
第23条　出場と交代 各チームのプレイヤーの内 10 人以上は、少なくとも 1 クォータ(6 分間)はゲームに出場しなければならない。 第 2 クォーターから第 4 クォーターまでの間は、**タイム・アウト**、クォーター・タイム、ハーフ・タイムのときに交代することができる。2 クォータの交代で出てこられるのは、1 クォーターの最初に登録する選手以外とする。また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレイヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場しなければならない。ただし、クォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーもその 1 クォーターを出場したものとするが、交代で出場した選手は規定の 10 人の中にはカウントしない。(現行ルールと同様に、1 人のプレーヤーが 1 ～ 3 クォーター続けて出場することはできない。) 第 2 クォーターまでに 10 人の選手が出場せず、第 3 クォーターにはじめて出場する選手がいる場合、その選手との交代は、前半に出場していない選手とする。	**第23条　出場と交代**(ルールブック p.34) 各チームのプレイヤーの内 10 人以上は、少なくとも 1 クォータ(6 分間)はゲームに出場しなければならない。 第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、クォーター・タイムとハーフ・タイムのときのみ交代することができる。また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレーヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場しなければならない。 やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーもその 1 クォーターを出場したものとする。・・・
第24条　タイム・アウト 1 チームは**各クォーターに 1 回ずつ 50 秒間のタイム・アウト**を取ることができる。延長を行う場合には、各延長時限に両チームに 1 回ずつのタイム・アウトが認められる。・・・	**第24条　タイム・アウト**(ルールブック p.35) 1 チームは各ハーフに 1 回ずつ 1 分間のタイム・アウトを取ることができる。延長を行う場合には、各延長時限に両チームに 1 回ずつのタイム・アウトが認められる。・・・
第 37 条　30 秒ルール(ルールブック p.44) コート内でボールを保持したチームは、30 秒以内にショットをしなければならない。 30 秒たってもショットをしないときはヴァイオレイションであり、相手チームにスロー・インが与えられる。 もし、30 秒たたないうちにボールがアウトになり、再びそのチームにアウトでボールが与えられるときには、**30 秒は継続とする。** ※ 30 秒ルールに関しては一般の 24 秒ルールを参考とする(別紙資料参照)　具体例としては・・・ ○故意的なキック・ボールの場合は、30 秒はリセットする。 ○ボールをコントロールしていたチームが、ジャンプ・ボール・シチュエイション後に引き続きスロー・インのボールを与えられる場合、30 秒は継続。etc	第 37 条　30 秒ルール(ルールブック p.44) コート内でボールを保持したチームは、30 秒以内にショットをしなければならない。 30 秒たってもショットをしないときはヴァイオレイションであり、相手チームにスロー・インが与えられる。 もし、30 秒たたないうちにボールがアウトになり、再びそのチームにアウトでボールが与えられるときには、あらたに30秒をかぞえる。
第9条　審判 (6)ファウル、ジャンプ・ボールが宣せられたとあとのスロー・イン、すべての**ヴァイオレイション後のスロー・インのとき、**スロー・インするプレイヤーにボールを手渡すかトスまたはバウンズ・パスで与えるかする。	**第9条　審判**(ルールブック p.14) (6)ファウル、ジャンプ・ボールが宣せられたとあとのスロー・インとフロント・コート(チームが攻撃するバスケットがある方のハーフ・コート)のアウトからのスロー・インのとき、スロー・インするプレイヤーにボールを手渡すかトスまたはバウンズ・パスで与えるかする。